

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 クリムゾン・ジャッカル	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：クリムゾン・ジャッカル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：ジャッカル・アンブッシュ

フレアーの幅 インチ

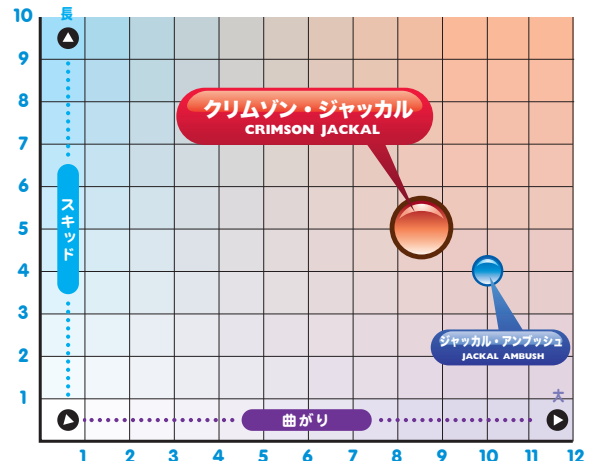
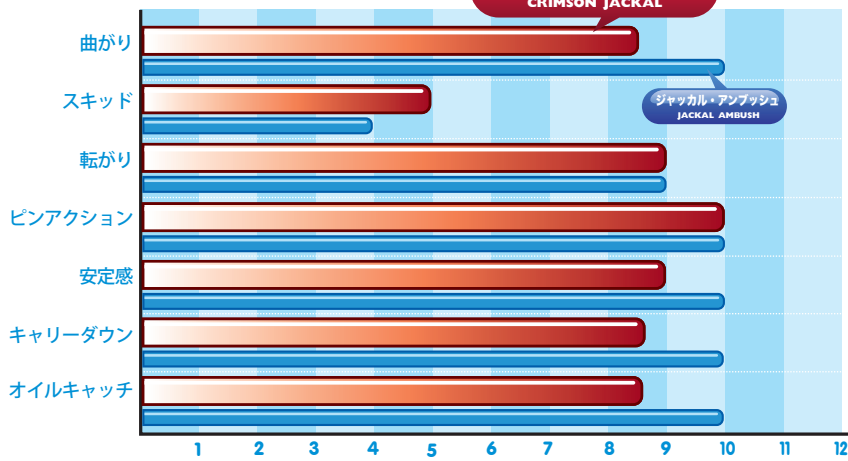
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

PBAでのEJタケットの活躍によりMOTIV株は世界的に急上昇しており、中でもPearl素材の性能向上には目を見張るものがあります。SUPRA RALLY、VIP ExJ SIGMA、NUCLEAR FORGEで実績を収め、日本でも馴染みのあるJACKALをPearl素材にして再び勝負を仕掛けることは、MOTIV社の自信の表れでしょう。

新しいPropulsion HV+ カバーストックはヘビーオイル環境において、高いキャッチ力と俊敏な応答性を実現させるために開発されましたが、その中でもヘビーオイル対応のJACKALに見合うパフォーマンスを兼ね備えるPearl素材を作り上げることは容易ではなかったはず。重要視すべき問題は、Pearl素材をベースにユーザーが持ち続けている”JACKAL”のイメージを継承しながら代名詞とも言える角度のある攻撃的なリアクションを実現できているかどうかです。その不安はテストングでものの見事に解消されました。

まず第一印象としてはPearlでありながらオイルに対しての弱さは感じなかったこと。たしかに前作JACKAL AMBUSHと比べると素材も表面加工も違いはあり、AMBUSHほどのゴリゴリ感はありません。しかしかえってAMBUSHは用途を限定されてしまい、コンディションに対しての得手不得手が大きく出てしましますが、CRIMSON JACKALはヘビーオイル領域においてはAMBUSHに一步譲るとしてもそこからの用途が広く、JACKALの攻撃的な性能を損なわずに幅広いコンディションで使用していただくことが可能です。表面仕上げは5000 Grit LSSというポリッシュ仕上げに近い形ですが、若干曇らせることでよりヘビーオイル向けに偏らせることができるのもCRIMSON JACKALの特性の一つです。

特記事項

MOTIV社の新たなPearl素材は今までのJACKALよりもより早く摩擦に反応し、敏捷性を兼ね備えた特殊カバーストックです。